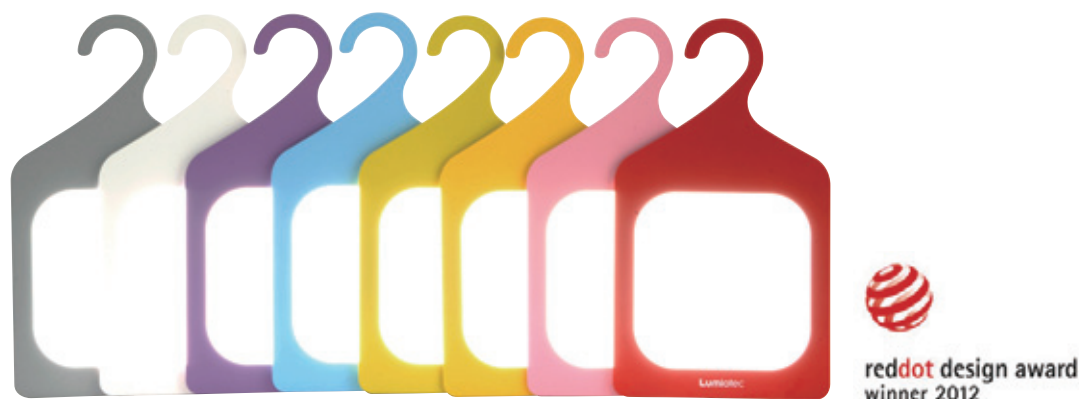


「レッドドット・デザイン賞」を受賞
Lumiotecの有機EL照明「HANGER」



Lumiotec (ルミオテック) 株式会社 (社長:重永 久夫、本社:山形県米沢市) が生産販売する有機EL (エレクトロ・ルミネッセンス) パネルを用いた照明器具「HANGER (ハンガー)」が、世界のデザイン界で権威のある「レッドドット・デザイン賞 プロダクトデザイン2012」 (red dot award:product design 2012) を受賞した。昨年9月の発売以来、先進技術と機能美の融合により好評を博している製品。

レッドドット・デザイン賞は、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター (Design Zentrum Nordrhein Westfalen) の主催により1955年から毎年開催されており、世界の3大デザイン賞※の一つに数えられる。過去2年以内に製品化されたデザインを対象に、デザインの革新性、機能性、耐久性、人間工学的な優秀性、環境配慮性など9つの評価基準で審査され、優れたデザインに贈られる。

今回受賞したHANGERは、有機EL照明器具では、同時発売された「VANITY (バニティー)」と並び有機EL照明器具としては世界で初めての量産販売製品。シンプルでありながら洗練されたデザインは、ミラノを拠点とするデザイナーの三井 直彦氏 (トライアンフ・デザイン・アンド・コンサルティング代表) によるもの。

厚さわずか3mmの極薄、軽量のHANGERは、もっと手軽に便利にそしてお洒落に照明を使う、新しいライフスタイルを提案する。機能的なデザインへのこだわりが、必要な場所に持ち込みすぐに使える明かりを実現した。有機ELから発せられる柔らかい明かりは目に入ってもまぶしくなく、表面も熱くならないので、間近で使うことができる。

Lumiotecは照明用有機ELパネルの事業性検証に向けて、三菱重工業、ローム、凸版印刷、三井物産などの出資により2008年5月に設立された世界初の照明用有機ELパネルの専門会社。これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リニア蒸発源式インライン成膜装置の実用化などを受けて、米沢市内に量産ラインを稼働させ、昨年から照明用有機ELパネルの量産出荷と同パネルを使った製品の開発・販売に取り組んでいる。

Lumiotecは今回のレッドドット・デザイン賞受賞を励みとして、引き続き性能、デザインともに優れ、世界の人びとの暮らしを豊かにする照明用有機EL製品づくりに一層積極的に取り組んでいく。

※ 世界の3大デザイン賞にはレッドドット・デザイン賞のほかに、ドイツのハノーバー工業デザイン協会 (iF : International Forum Design GmbH) が1953年から毎年開催する「iFデザイン賞」 (iF Design Awards) と、米国工業デザイナー協会 (IDEA:Industrial Designers Society of America) およびビジネスウィーク誌の共催で1980年から毎年開催される「IDEA賞」 (International Design Excellence Awards) がある。

【問合せ先】

Lumiotec株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotec_info@lumiotec.com

以上